

## KALDEWEI 鋼板ホーローバス施工について

### ■設置用脚とは

- ・ バスタブ設置用脚は、高さの調整やバスタブを設置するためのもので、使用時における全荷重を受けるものではありません。埋め込み施工する場合、設置用脚のみで荷重を受けるのではなく、必ずバスタブのフランジ部分でも荷重を受けるような設置方法としてください。
- ・ バスタブへの取付け後、または施工前の状態では構造上、バスタブ自体に若干の揺れや軋みが発生します。

### ■施工に当たってのお願い

- ・ 埋め込み施工する際、設置用脚のみでなく、必ずバスタブのフランジ部分でも荷重を受けられるような設置としてください。
- ・ 排水方法は排水金具と建築側の排水管を直接接続する、直接排水方式としてください。排水金具の組み付け後、接続箇所に水漏れがないか、また排水金具が正常に可動しているかを確認してから施工してください。
- ・ バスタブの周囲にメジシールやシリコンコーキング材を使用し、バスタブを固定してください。
- ・ 使用後の万一の点検修理に備え、排水金具付近に点検口を設けるか、設置後の浴槽取外しが可能な施工方法で設置してください。設置用脚の端部をモルタル等で固定すると、取り外すことができなくなりますのでご注意ください。
- ・ カルデバイ鋼板ホーローバスタブは傷を付けると完全な補修ができません。工事が終わるまで、荷材の段ボールを使って養生し、取り扱いには十分にご注意ください。

バスタブ設置用脚の取付け

セット内容

施工前に必ず下記の内容をご確認ください。

- ①設置用脚
  - ②防振パッド用ベース  
防振パッド
  - ③スタッドボルト  
蝶ナット  
ナット  
ワッシャー
- 4セット
- 2セット

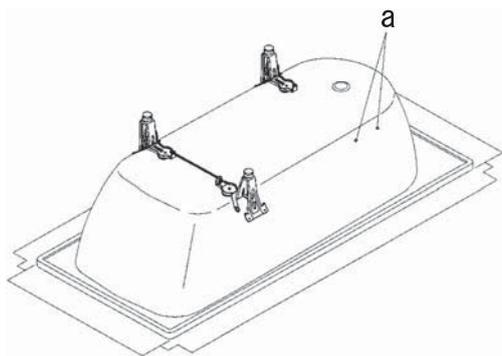
外箱写真



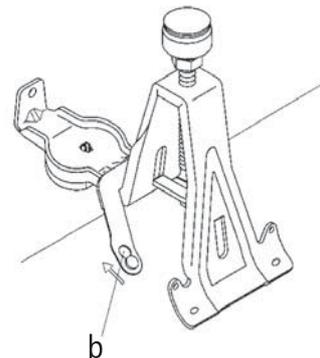
内容写真



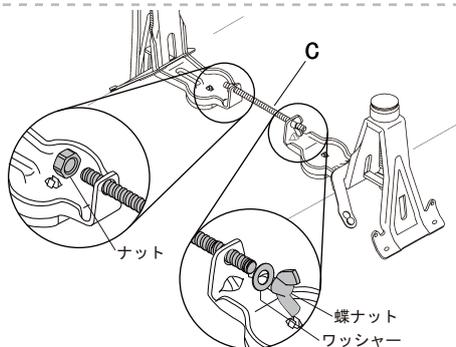
取付方法



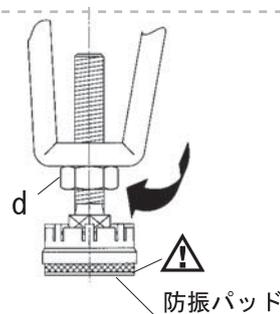
- ① 取付の際、浴槽にキズがつかないように作業してください。



- ② 図①の突起部 (a) に設置用脚の穴 (b) をはめ込み矢印方向にスライドさせます。



- ③ 左右の脚にスタッドボルト (c) を通し、ナットと蝶ナットで締付けます。
- ※締付けの際、工具は絶対に使用しないでください。手締めでしっかりと締付けることで十分な強度を得ることができます。工具を使用しますと、部品が破損する場合があります。



- ④ 各脚底部に防振パッドを取付けてください。各脚をレベル調整し、ロックナット (d) で固定してください。

※工具などで防錆塗装部分にキズをつけないでください。鉄部が露出し錆が発生します。

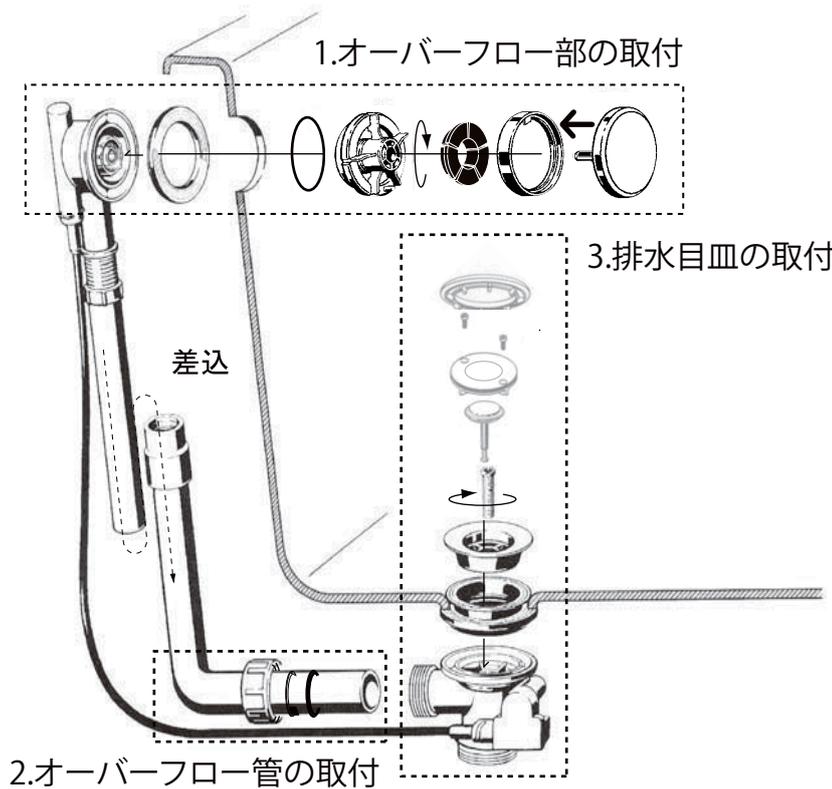
## 排水金具の取付け

### 排水金具セット内容



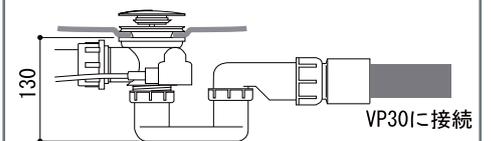
- ①排水部品本体
- ②パッキン
- ③Oリング
- ④オーバーフローフランジ
- ⑤オーバーフロー穴埋めゴム栓
- ⑥化粧カバー
- ⑦ポップアップハンドル
- ⑧オーバーフロー管
- ⑨ジョイントゴム
- ⑩袋ナット
- ⑪スリップワッシャー
- ⑫テーパパッキン
- ⑬吸盤
- ⑭排水カバー
- ⑮排水カバー取付部品 (PC ボルト付)  
※出荷時期によりベースの形状が異なるものもございますが、作業手順は同じです。
- ⑯排水栓
- ⑰目皿取付ボルト
- ⑱目皿
- ⑲排水口用 U 型パッキン

### 全体図



※別売品です。必要な場合、注文時にご指示ください。

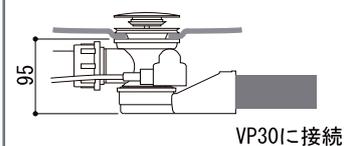
#### ■バス用トラップ



- ・塩ビ管30に接続できます。
- ・塩ビパイプ用の接着材を使ってVP30と接着してください。

#### ■横引きエルボ

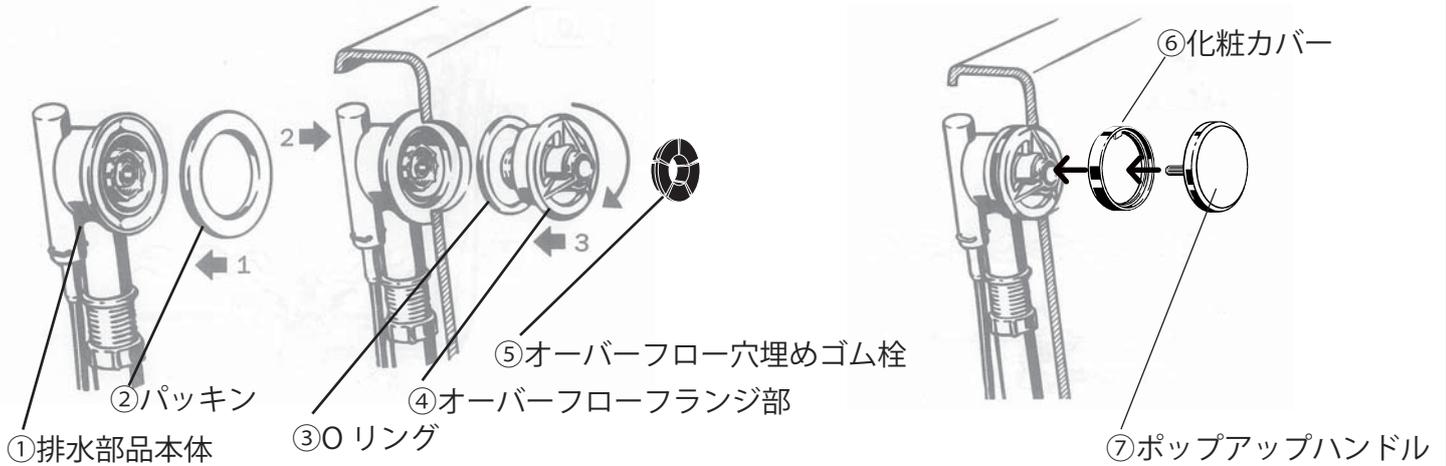
(トラップ機能はありません。)



- ・排水部品の端部ネジ (G 1.1/2" ) にシール材を巻きつけエルボを接続してください。
- ・塩ビパイプ用の接着材を使ってVP30と接着してください。

## 排水金具の取付け

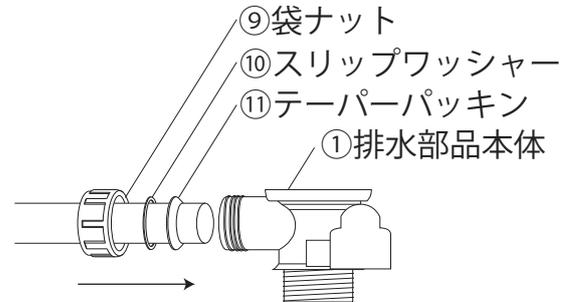
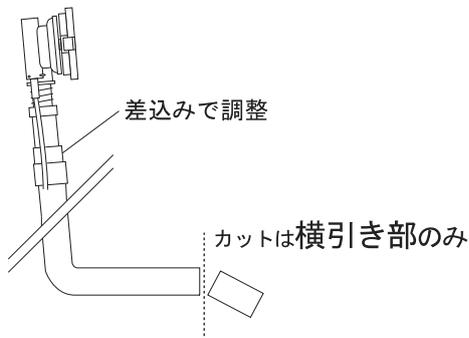
## 1. オーバーフロー部の取付



1. 「②パッキン」を「①排水部品本体」に、「③Oリング」を「④オーバーフローフランジ部」に、それぞれはめ込みます。
2. バスタブ内側から「④オーバーフローフランジ部」を「①排水部品本体」に締めます。
3. 締込みの際、「④オーバーフローフランジ部」の溝に「③Oリング」が緩みなく納まっているか注意して締込んでください。



## 2. オーバーフロー管の取付



1. オーバーフロー管がバスタブ側面に沿うよう、「⑦オーバーフロー管」の横引き部のみをカットし調整します。  
(写真①参照)

## 写真①



※オーバーフロー管は確実に取付けて下さい。

2. 「⑪テーパーパーッキン」、「⑩スリップワッシャー」を通し、「⑨袋ナット」を締めます。  
※順番、向きに注意してください。

## 排水金具の取付け

## 3. 排水目皿の取付

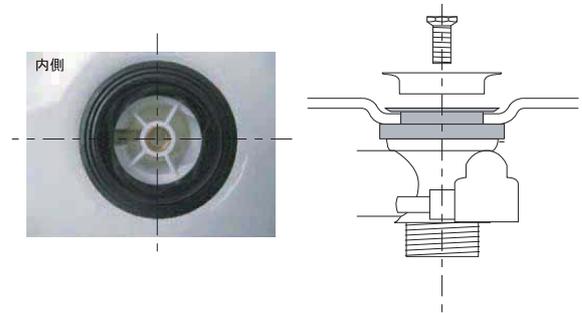
- 1.「⑩排水口用U型パッキン」を右図の向きにバスタブ排水口へ取付け、バスタブ裏面より「①排水部品本体」を合わせ、表面より「⑦目皿」を「⑥目皿取付けボルト」で締め込んでください。

- 2.バスタブの排水口の中心と「⑦目皿」の中心を合わせて締め込んで下さい。

※パッキンの向きに注意してください。

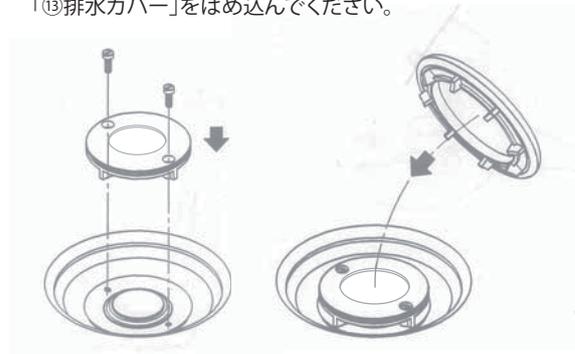
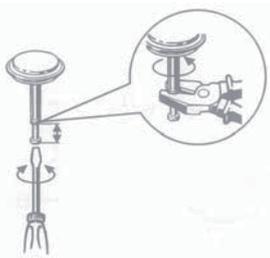


正しいパッキンの向き 誤ったパッキンの向き



- 3.「⑮排水栓」を取り付ける際に「⑥ポップアップハンドル」を回し適切に開閉しない場合はロックナットを緩め、「⑮排水栓」のビスの長さを調節(Max15ミリ)し、最後にロックナットを締めて固定してください。

- 4.「⑭排水カバー取付部品」を付属のPCボルトで目皿に取付け、「⑬排水カバー」をはめ込んでください。



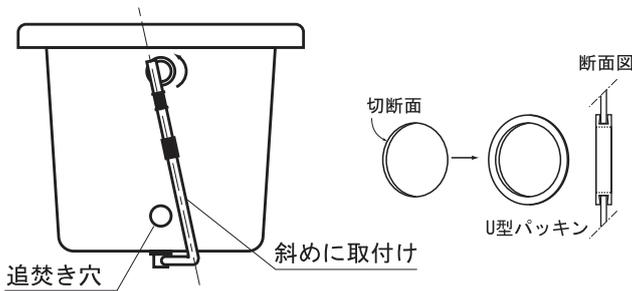
※排水金具と建築側の配管は直接接続する、直接排水方式としてください。

※排水金具取付け後、漏水が無いかわ必ず確認して下さい。

※埋め込み施工の場合、万一の点検修理に備え、排水金具付近に点検口を設けるか、設置後の浴槽取外しが可能な施工方法で設置してください。

## 排水金具の取付け

## 追焚付給湯器対応モデルについて

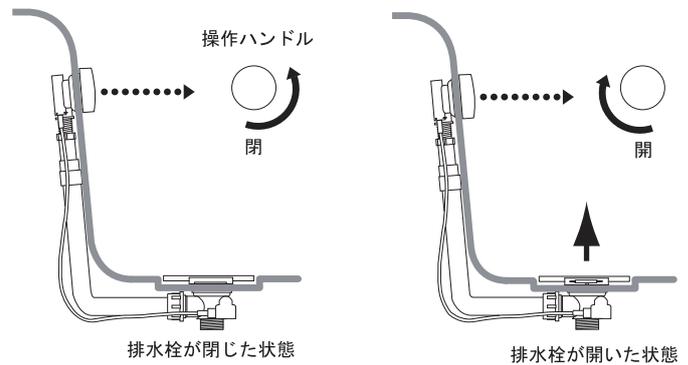


- ・排水部品を斜めに取付けることにより、循環金具に干渉せず取付けることが可能です。
- ・追焚付給湯器対応モデルに付属している「U型パッキン」は循環金具に付属のパッキンと併せてご使用ください。

## 追焚付給湯器用循環金具取付穴を現場加工する場合

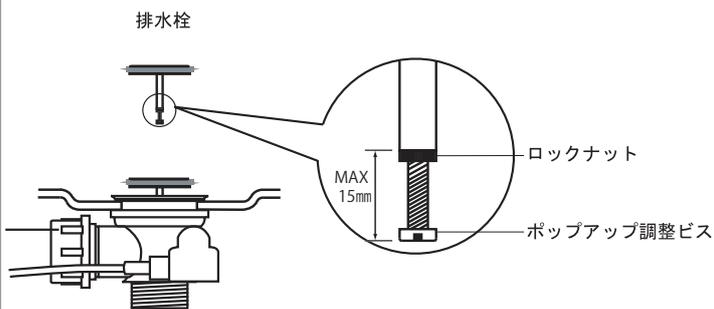
- ・ホーロー用ホルソー(φ53)で穴をあけ、**切断面を確実に防錆処理**し(ローバル等、亜鉛メッキ塗料)「U型パッキン」(別売品)を取付けてください。
- ・確実に防錆処理を施しませんともらい錆やホーロー層の剥離等重大な不具合の原因となります。
- ・付属の「オーバーフロー穴埋めゴム栓」を使用する場合も「オーバーフロー管」は必ず取付けてください。

## 操作ハンドルの使用方法について



- ・「操作ハンドル」はまっすぐ奥までしっかりと差込みます。
  - ・**可動範囲は最大180°以内**ですので、それ以上の無理なハンドル操作は行わないでください。
- ※「操作ハンドル」は大きな負荷が掛かった場合、ハンドル自体が破損することにより内部部品の破損を防ぐ構造となっておりますのでご注意ください
- ※浴槽周りの施工を行なう前に排水金具の動作確認を行なってください。

## 排水栓の調節について



- ・「調整ビス」は**15ミリ**に設定して出荷しております。
- ・操作ハンドルを回し適切に開閉しない場合、下記手順で調整してください。  
「ロックナット」を緩め「ポップアップ調整ビス」の長さを調整し、最後に「ロックナット」を閉めて固定してください。
- ※「調整ビス」の突出し量は、15ミリ以内の範囲で調整して下さい。
- ※ポップアップ式の排水金具は構造上、若干水が抜けますが、ご使用に不便を感じるほどではありません。

## オーバーフロー穴埋めゴム栓取付けについて



このゴム栓(5分割)はオーバーフローフランジ部に差込むことにより、オーバーフローさせず、より深い水位を確保できます。少量の石鹸水を塗布し確実に差込んでください。

一般的な在来浴室など洗い場のある場合、このゴム栓を取付けてください。

ただし、オーバーフローをふさぎますとバスタブから湯水が溢れる場合があります。ホテルや洗い場のない浴室、フリースタANDINGで設置する場合など、オーバーフローが必要な場合は取付けないでください。

取付けない場合はユーザー様に必ずお渡しください。